

ラフター・オルター旋回角度検出器不具合品混入に係わる交換工事の件

当社製品をご愛用頂き誠にありがとうございます。

当社製品のラフター・オルタークレーンに搭載している旋回角度検出機器(エンコーダー)に不具合品が混入している可能性があり、サービスニュースを発行し周知致します。

不具合の事例として、クレーン作業中に旋回角度の検出をしなくなることがありました。

当該機を確認したところ、エンコーダー内部の旋回角度を検出するセンサー部に不具合があることが判明しました。

今回限定された期間に製作された車両の中に、センサー部分に不具合があるエンコーダーが搭載された可能性があります。

当社の全国各支店、営業所担当サービス員・営業部員及び当社サービス工場の担当者から該当します車両を保有するお客様に連絡を致します。連絡があった車両のエンコーダーについて部品の交換工事を実施しますので、お客様を担当する弊社サービス工場に車両の入庫をお願いします。

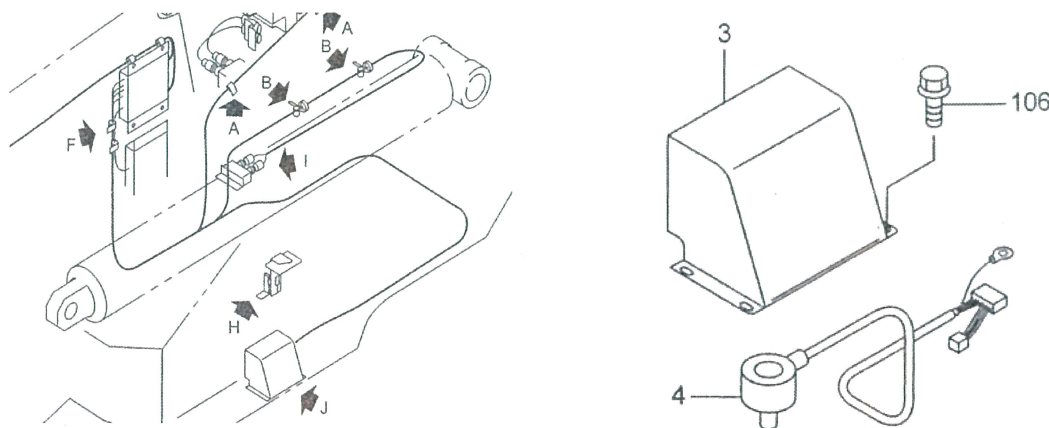
交換標準作業時間は、2時間です。

記

○ 不具合部品が搭載されている可能性がある車両及び製作期間

- | | | |
|--------------------------|------|------------------|
| 1・ KR-25H-V8 (SR-250Ri) | 製作期間 | 2013年11月～2014年8月 |
| 2・ KRM-20H (MR-200Ri) | 製作期間 | 2014年7月～2014年8月 |
| 3・ KR-75H (SL-800Ri) | 製作期間 | 2013年10月～2014年9月 |
| 4・ KA-1300SL (KA-1300SL) | 製作期間 | 2014年3月～2014年10月 |

合計 485 台



旋回角度検出器部位の交換